

● 総合計画特別委員会

理事者から第6次勝山市総合計画（素案）と今後のスケジュールについて説明がありました。

委員からは、「勝山市の魅力やポテンシャルを政策に活かすことが重要で、産業振興や観光分野への具体的な活用を盛り込むべき。」「10年後の勝山市が明確に想像出来るよう表現方法を工夫してほしい。」といった意見がありました。

理事者からは、勝山市総合行政審議会への諮問や審議、パブリックコメントの募集等、各界各層の意見を十分に聞きながら議会にも報告し、計画作業を進めていきたいとのことでした。

● 議会改革特別委員会

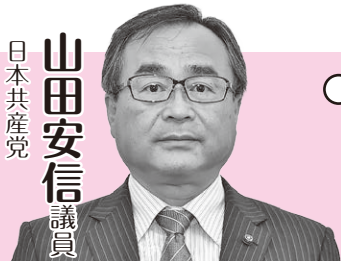
委員会では、主に議員定数に特化して議論しました。各委員に行ったアンケート結果や定数の理由について意見を交わす中で、人口や経費、市民の声、議会の役割、若者や女性の参画等、いろんな観点から多くの意見がありました。その後、論点ごとに議論を交わしました。

今後は、1月には方向性を決め、2月に委員長報告と定数を変更する場合には条例改正案を協議したうえで、3月に上程して議決する予定です。



一般質問Q&A

山田安信
議員
日本共産党



○ 中学校の統廃合について

その他の質問

- ・ 総選挙の結果と今後の対応について
- ・ 令和4年度予算編成方針について

問 ①市教育委員会が作成した文書に、県教育長が「勝山市における中高併設は可能で意義あるものと判断」したと記述しているが、県は「該当する公文書を作成し、または取得しておらず」と通知し、県職員は「可能性を検討しただけ」としている。市教育委員会は、根拠資料もなく当事者に確認もせず、勝手に文書を作成するのか。

②県の公開文書は、梅田教育長や市教育委員会の職員との話し合いをまとめたとして、この内容を勝山市も同意したのか。

③中学生は勝高生の2倍で、ほぼ全員が部活動する。県の文書は「中高の部活動の練習場所は今後の課題」で、ジオアリーナへの移動などは「検討」との記載だが、検討結果はどうなっているのか。

答 ①当該文書については、県教委に示していないが、事前に県の考え方をしっかり確認してまとめたもので、勝手に憶測等で作成することはありません。なお、県教育長は報道機関の取材に対して「中高併設は高校の魅力向上にも繋がる」と説明されている。

②県教委とは何度も協議を重ねてきたが、情報公開された文書については勝山市教委が承知していたものではなく、同意した内容ではない。

③勝高も含めた話し合いで、勝高の第1、第2体育館とグラウンドも中高が共用することを前提に、ジオアリーナと長山公園グラウンド等も含めて対応することを基本に今後詳細な調整をしていくということ、話し合いを進めてきた。

これまでの考え方として、高校グラウンドから国道のジオアリーナ前の信号に出る道を拡幅整備し、渡り廊下を設けるといふ案があったが、より安全かつスムーズなアクセス方法がないか、現在検討中である。

